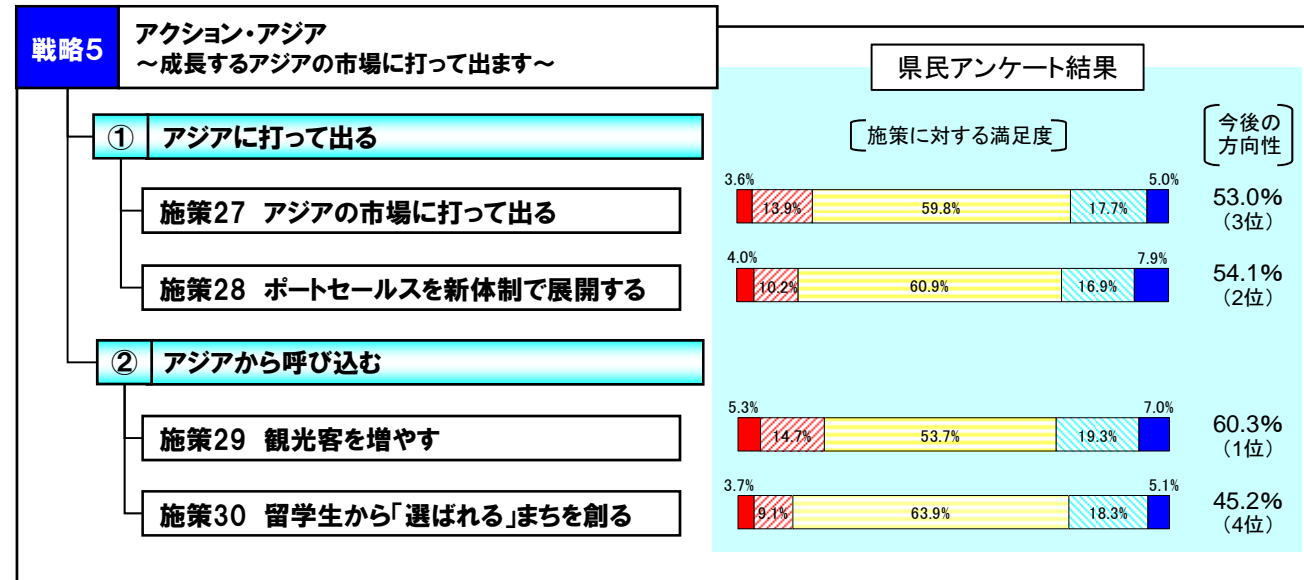


(総括評価表Ⅱ)

“アジアとつながる”～「アジアの中で存在感のあるくまもと」をめざします～

1 実現に向けて推進する戦略



※県民アンケート(「幸せ実感くまもと4カ年戦略」に関する意識調査)結果について

「施策に対する満足度」
次の5段階で示したものを。

■ 満足 □ やや満足 □ どちらでもない □ やや不満 ■ 不満

「今後の方向性」
各施策の今後の方向性として、「もっと力を入れて取り組んでほしい」と回答した人の割合を示したもの。
《()内は同施策の戦略内での順位》。

2 戦略指標の動向

※下表の「指標の動向」欄及び「達成状況」欄は目標値の種類に応じて次により整理。

目標値の種類	「指標の動向」	「達成状況」
戦略策定時から最終年度までの累計値で見ていく指標	↑	☆
最終年度(単年)の実績値で見ていく指標	→	★

指標	戦略策定時(年度)	評価時(H25年度)	単位	指標の動向	目標値(H27年度)	種類	達成状況
① アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数(中国)	延べ57(H23)	66	延べ数	↑	延べ86	累計	
	延べ27(H23)	33	延べ数	↑	延べ40		
	延べ16(H23)	21	延べ数	↑	延べ23		
② 延べ外国人宿泊者数	33万人/年(H22)	30	万人	→	60万人/年	単年	
うちアジアからの延べ外国人宿泊者数	30万人/年(H22)	28	万人	→	55万人/年	単年	
留学生の数	575人/年(H23)	655	人	→	1,000人以上/年	単年	

3 平成24年度の主な成果・今後の課題や方向性

○：平成24年度の主な成果
●：今後の課題や方向性

【戦略5】アクション・アジア

- 中国・広西壮族自治区の南寧市に熊本広西館を設置。上海事務所とあわせて中国における拠点として、熊本～南寧のチャーター便造成、定期便の整備等を含めた覚書の締結など、県内企業の中国展開を支援。
- 台湾にビジネスアドバイザーを新たに配置。また、台湾とのチャーター38便を実現。
- シンガポール、香港のビジネスアドバイザーや輸出促進アドバイザーの支援などを通じ、アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業等が着実に増加。
- 熊本港、八代港のコンテナ取扱数量が前年比16%増加し、物流が促進。熊本港のガントリークレーンの供用開始や週2便体制の実現などが寄与。
- 延べ外国人宿泊者数が対前年比31.9%増となる30万人に回復。特に東アジアは、韓国：172,313人(全国第5位、対前年比+15.5%)、台湾：66,184人(対前年比+279.5%)、香港：13,215人(対前年比+83.0%)、中国：16,429人(対前年比+30.5%)と大幅に増加。
- 県、熊本市、熊本大学及び経済界のトップが集う「くまもと都市戦略会議」で「留学生支援のためのワンストップ窓口の設置」等を検討し、H25年度から共同事業の実施が決定。また、大学コンソーシアム熊本等との共催による留学生向け就職説明会に県内企業等19社と留学生132人が参加。

- 生産者向けの専門的相談・助言体制づくりや商談機会の創出による県産農林水産物の輸出拡大。
- 熊本港及び八代港のコンテナ取扱量が両港で30,000TEUとなるよう、地元市、港湾関係企業等との協力体制の構築や航路の維持・拡充。(※TEU：twenty-foot equivalent unit、20フィートコンテナ換算)
- 中国・台湾との定期線の就航、熊本～ソウル線の週5便化、天草エアラインを活用した海外観光客誘致等の実現に向けた継続的な取り組み推進。
- 九州各県や関係機関との連携による「オール九州」の視点に立った情報発信。
- 留学生支援ワンストップ窓口の設置、留学生ネットワークの構築等を通じた留学生が住みやすく、学びやすい環境の実現。

